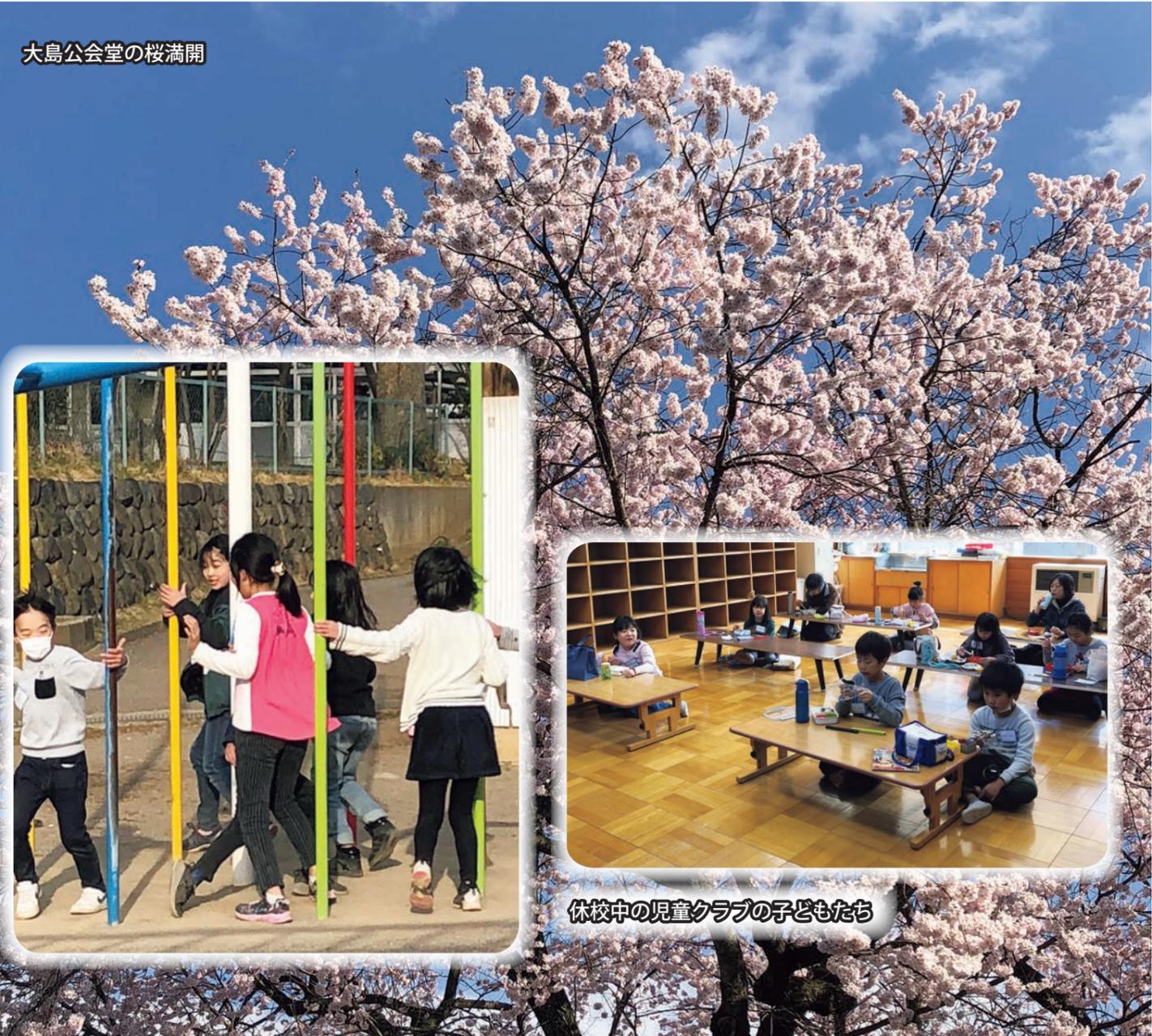


# 議会だより おふせ

No 100  
2020.4.20  
発行 長野県小布施町議会

大島公会堂の桜満開



休校中の児童クラブの子どもたち

- 予算の概要と重点施策…………… P 2～3
- 予算審議・予算特別委員会報告…… P 4～5
- 1・2・3月会議のあらまし…………… P 6
- 新たな議会活性化…………… P 7
- 議会日誌…………… P 8
- 政策立案常任委員会報告…………… P 9
- 目次
- 一般質問 (12名) …………… P 10～21

## おかげさまで100号

小布施町議会だより100号発刊に当たり、皆さまに感謝申し上げます。平成7年10月に創刊以降、24年以上の積み重ねに重みを感じつつ、今後とも積極的に、町民の皆さまと議会をつなぐ役割を担ってまいります。

## 議会傍聴記

横町 須山かよ子

これまで何回か傍聴してきた中で印象に残ったことを書いてみたいと思います。

ある質問に対する町の答弁で、「国が、県がこうなっているので、町もそのようにします。」ということがありました。国、県の政治と同じことはもちろんあるでしょうが、町の独自性というのも町民にとってはとても大切なことではないでしょうか。今後の議員さんたちの活動に期待したいと思います。

もうひとつは、各議員さんたちの質問はどれだけ町民の声を反映したものか、ということ。小中学校のエアコン設置などは、正に町民(子どもたち)の声、願いが実現したものです。

議員さん方には大変ご苦労していただいています。これからも引き続き町民の幸せのためにご努力いただくことを願っております。

## テラソに 世界自閉症啓発デー (4月2日～8日) コーナーが設置されました。



## 編集後記

新年度が始まりました。2019年度は台風19号による被災、新型コロナウイルスの対応に追われる年度でした。

このような時に、柔軟に的確な対応をするには行政と議会と町民が一緒に協働し合う自治活動を行うことが必要だと思います。

これから5年間に渡る第6次小布施町総合計画における基本構想を承認いたしました。将来像として、自律的・協働的にまちづくりを取り組んでいくことが大切とあります。議員一同、町民の皆さんの声をお聴きし、協働して「まちづくり」に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染予防対策はまだ続きます。手洗いを徹底する、不要不急の外出を控える等、気をつけましょう。

発行責任者 議員 長 関 悦子  
議会広報常任委員会  
委員長 中村 雅代  
副委員長 竹内 淳子  
委員 小 関 小 関 小 関  
渡 谷 小 関 小 関  
辺 谷 小 関 小 関  
悦 建 明 良 幸  
子 次 生 晃

# 令和2年度 一般会計予算

## 重点施策

- 健康と福祉の充実
  - 新規 小布施出かけて交流ポイント事業
  - 強化 風しん予防接種の実施
- 相談支援体制の充実
  - 強化 母子・子育て世代支援の推進
- 子育て環境の充実
  - 新規 栗ガ丘小学校の環境整備
  - 強化 不登校の児童・生徒を支援
- 協働と交流そして地方創生
  - 強化 新たな総合計画に基づいた地方創生の推進
- 活力ある産業の創出
  - 新規 先進的農家支援事業
  - 強化 起業者支援事業・空き店舗活用事業
- 地域の安全と安心の推進
  - 強化 地域防災力の更なる強化

# 48億7600万円を可決

3月会議は3月2日（月）から3月19日（木）までの会期で開きました。町より提案された議案は、条例制定1件、条例改正5件、令和2年度予算7件、令和元年度補正予算7件、基本構想（※）の議決1件、公平委員会規約の変更1件、長野市及び小布施町における連携中枢都市圏に係る連携協約の変更1件の計23件、その他陳情1件と議員提案2件、計26件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

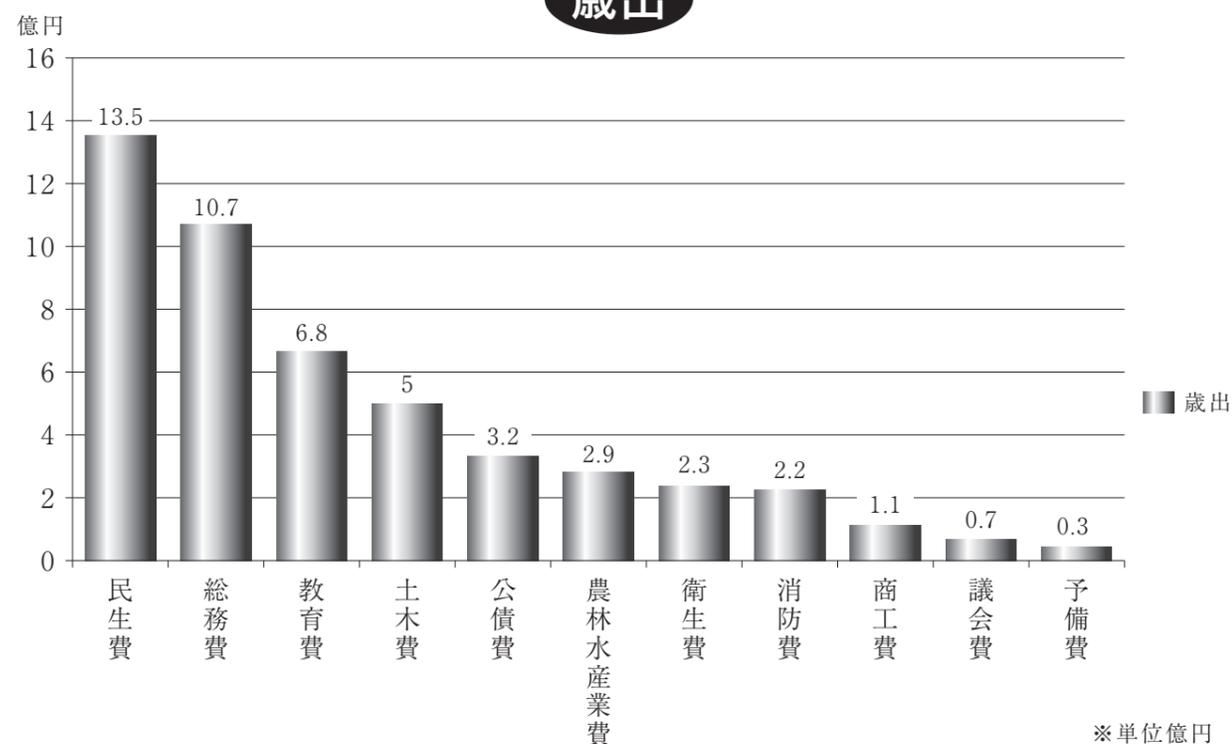
### 第6次小布施町総合計画の基本構想は…

※ 総合計画は「基本構想」と「基本計画」により構成します。「基本構想」は、「将来像」「基本理念」「人口ビジョン」により構成されています。

計画期間は、令和2年度から令和6年度の5年間です。

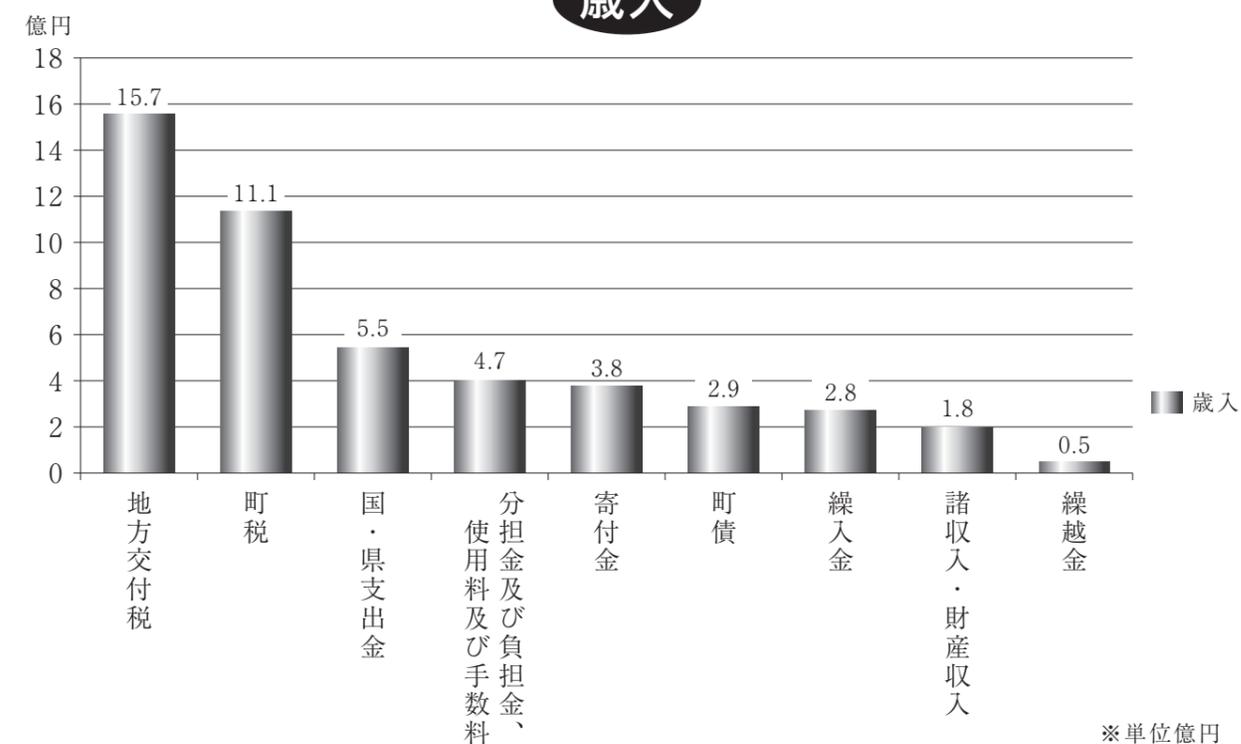
「基本計画」は、基本構想に掲げる理念・将来像を実現するため、重点分野として取り組むべき「出産・子育て・教育」「健康・医療・福祉」「学び・交流・文化」「産業振興・移住定住」「環境・防災・インフラ」「協働の推進・行財政改革」の6つの分野により構成。

## 歳出



※公債費とは借金返済のための経費

## 歳入



※町債とは、町の借金のこと

最小経費で  
最大効果を

# 令和2年度 予算審議

## 予算特別委員会 第一分科会

(総務課・財政課・企画政策課・産業振興課・建設水道課)



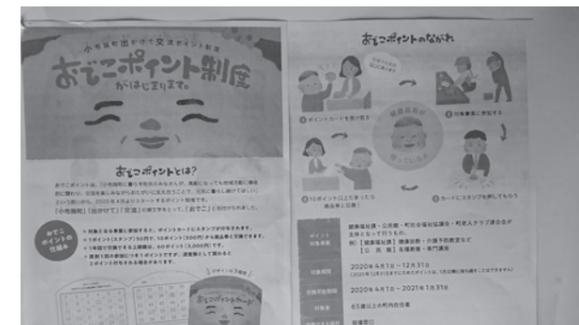
討議している予算特別委員会



起業や新規事業を目指す慶応SFC



栗ガ丘小学校トイレ洋式化



おでこポイント制度

### 一般会計

#### 歳入

- ◎小布施ふるさと応援寄付金3億5000万円の見積り内容は。
- ▲農産物2億4800万円、加工品1億200万円。最近の寄付額実績により試算しました。

#### 総務費

- ◎地方創生推進事業の地域商社機能強化委託料、既存建築物解体工事、市庭用地購入費の内容は。
- ▲町として地域商社を振興公社として位置づけマーケティング、マネジメントの強化を委託。国道403号の道路・歩道整備に併せ建物解体、市庭の整備を実施します。
- ◎地域おこし協力隊の現状と募集人員並びに委託内容は。
- ▲現在は3名で1名は3月末で退職、1名は11月末で3年任期になり退職される。今後小布施見にマラソン事務局、わんぱく教室等の教育関係、フラワーセンター等花のまちづくりで5名の募集をしていきます。

### 農林水産業費

- ◎新興果実全量買取りのプラムリー、チェリーキスの対象者数は。買取価格補助は解消した方が良くはないか。
- ▲プラムリー40軒、チェリーキス14軒で栽培されています。買取価格補助は将来的には解消していきたい。

### 商工費

- ◎空き店舗対策費は何軒分でその内容は。
- ▲1軒ですが貸し店舗の改修と家賃補助も含まれています。

### 土木費

- ◎緑の管理人は何人で対応しますか。土地借上げ料が前年より50万円高くなっている理由は。
- ▲現在は8人で対応していますが、高齢化も進んでおり来年は9名の予算化をしました。50万円増は現在の南駐車場の隣の大島・飯田地区の共有地4200㎡を新たに借り上げる分です。

### 民生費

- ◎他機関協働包括的支援体制構築事業に来年度講師謝礼が無いが。
- ▲精神保健福祉士に謝礼ということで12月までは週1回実質的な勤務の形でお願いしてまいりました。フリーランスで各市町村でも働いており今回委託料をお願いします。
- ◎障害児補装費に補聴器は入っていますか。
- ▲補聴器は入っています。

### 衛生費

- ◎ロタウイルスワクチン接種が新規で予算付けされた対象者は。接種は全員か希望者か。
- ▲生後2ヶ月から46週6日までに初回接種が定められている。原則全員接種する。

### 教育費

- ◎栗ガ丘小学校トイレ改修工事の具体内容は。
- ▲普通教室棟・管理棟・特別教室棟のトイレの洋式化を実施します。スペースが広がり大便器、小便器1～2減少する見込み。多目的トイレも造ります。

### 介護保険特別会計

- ◎おでこポイント制度の内容は。
- ▲65歳以上の方がポイント対象の講座等に参加したり、健康診査を受診した時にポイントが付与される事業です。1ポイント50円とし10ポイント500円から商品券と交換できます。

### 本会議で賛否が分かれた議案

賛=賛成 反=反対 議長は議決に参加しない

議案	寺島弘樹	水野貴雄	関良幸	竹内淳子	中村雅代	福島浩洋	小林一広	小西和美	大島孝司	小淵晃	関谷明生	渡辺建次	小林正子
下記以外の議案は全議員賛成で認定・議決しました													
令和2年度一般会計歳入歳出予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
令和2年度国民健康保険特別会計歳入歳出予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
令和2年度介護保険特別会計歳入歳出予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書及び意見書	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

# 1月会議

1月15日に1月会議を行い、補正予算1件を審議し、原案のとおり可決しました。

## 補正予算

○一般会計	53,041千円
・災害等廃棄物処理事業費	40,972千円
・災害復旧活動支援金	1,500千円

・排水用ポンプ修繕料	2,062千円
・道路橋梁災害復旧事業費	3,789千円
・都市公園災害復旧費	3,184千円
など	

# 2月会議

2月10日に2月会議を行い、専決処分1件、条例改正1件、補正予算1件、請負契約1件を審議し、それぞれ原案のとおり可決しました。

## 専決処分

・災害援護資金貸付金	2,500千円
------------	---------

## 条例改正

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例——「災害弔慰金の支給等に関する法律」に基づき町が災害弔慰金及び災害障害見舞金を支給するに当たり、自然災害による死亡であるか否かの判断が困難な場合等には、医師や弁護士等の有識者による審査会等を設置し、その審査を経て判定できる

よう改正を行うもの。

## 補正予算

○一般会計	1,237,652千円
・災害等廃棄物処理事業費	18,905千円
・農地災害復旧事業費	1,218,212千円
・葛飾北斎特別番組制作負担金	500千円

## 請負契約

・台風19号災害残土処分1工区工事	169,191千円
-------------------	-----------

# 3月会議

3月2日から19日まで3月会議を行い、条例制定1件、条例改正5件、予算7件、補正予算7件などを審議し、それぞれ原案のとおり可決しました（令和2年度予算については、2～5ページ参照）。

## 条例制定

○町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例——「地方自治法」の改正に伴い、町長等が違法な職務行為により町に損害を生じさせた場合の損害賠償について、その職責等を考慮して政令で定める基準を斟酌して条例で定める額を超える部分について免責とすることが可能となるため制定するもの。

## 条例改正

○小布施町手数料条例の一部を改正する条例——「住民基本台帳法」の改正に伴い、住民票の除票の写し等及び戸籍の附票の除票の写しの交付が制度化されたため、この交付に係る手数料を徴収するために改正するもの。

○小布施町立公民館設置及び管理に関する条例——「地方公務員法」の改正に伴い、特別職非常勤職員の見直しにより、分館長は公務員として行う必要がない職（私人）に整理されたため規定から削除するもの。

○小布施町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例——放課後児童支援員の基礎資格について、放課後児童支援員認定資格研修を修了した者に「終了予定者」を含める経過措置を設けているが、この経過措置が本年度末で執行するため、この措置の延長を行うもの。

○小布施町町営住宅の設置及び管理に関する条例——「公営住宅管理標準条例」の改正に伴い、必要な改正を行うもの。

○小布施町消防団条例——消防団員の確保のため、現行の「50歳未満」の年齢の上限を撤廃するもの。

## 補正予算

○一般会計	116,650千円
・ふるさと納税促進事業費	130,018千円
・地方創生・定住促進事業費等	△19,263千円
・障害者福祉費（自立支援給付事業費）	19,700千円
・公共下水道費	△15,123千円
・まちづくり総務費	△2,091千円
など	

○国民健康保険特別会計	130千円
○後期高齢者医療特別会計	6,493千円
○介護保険特別会計	341千円
○農業集落排水特別会計	△2,794千円
○下水道事業特別会計	△155,887千円

○水道事業会計	
・収益的支出	△68千円
・基本的支出	△251,483千円

小布施町基本構想の議決	1件
陳情	1件
その他（議員提案2件含む）	4件

## 新たな議会活性化特別委員会を設置

### 公募で町民の皆さんと検討会を

昨年4月の町議会議員選挙は「3期連続の無投票」という残念な結果になりました。議会では深刻に受けとめ「新たな議会活性化特別委員会」を9月20日に設置いたしました。

特別委員会は毎月1回の会議の中で、前議会でご活躍をいただいた「議員のなり手不足検討委員会」の皆さんとの意見交換会を開催することにになり、2月26日に実施しました。

意見交換会は下記の皆さんの出席により有意義な提案をいただきました。

①定数14に対して14名が立候補され、定数割れにならなかったのは一定の成果。

②定数を減らして選挙にすれば良いということではなく、働きたがら議員活動が出来るなら、立候補をされる人もいます。

③立候補者がいないのは議会の問題ではなく、町民の問題だと思ふ。自分の住む町がこういう町にしたいという気持ちが薄い。

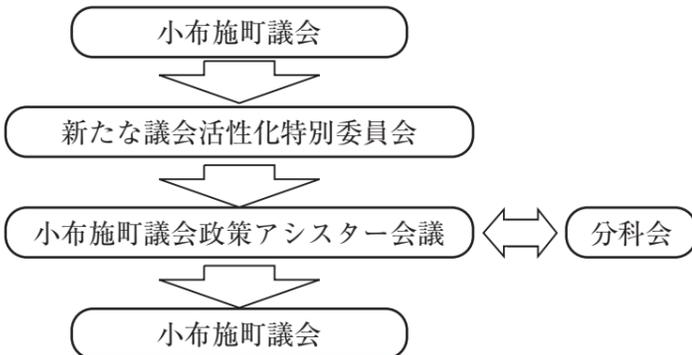
④議会活性化の先に議員のなり手不足の解消がある。町議会は活発に議論をし活動をしているが町民には見えず、町民の要望に応えきれない。

⑤今議会も前議会のように町民からの公募で新しいメンバーを募り、「意見・要望」を聞く場を設けてほしい。

## 出席者（敬称略・順不同）

昨年度「議員のなり手不足検討委員会」

- 大島 秀美（清水）
  - 小林 保雄（矢島）
  - 高野 薫（松村）
  - 寺島 正雄（六川）
  - 原山 豊（横町）
  - 横山 知子（六川）
- 新たな議会活性化特別委員会
- 小林 一広（委員長）
  - 小淵 晃（副委員長）
  - 関 良幸 竹内淳子
  - 中村雅代 福島浩洋
  - 大島孝司（当日欠席）
  - 関 悦子（議長・オブザーバー）



## 議会政策アシスター募集

小布施町議会が町民の皆さんの近くで、また同じ目線で「小布施町の政策立案」をするために、町民の皆さんと議員が一緒に協議する場として「議会政策アシスター会議」を、創設することになりました。

町民の皆さんには、小布施町の未来を一緒に考える機会として、ご協力、ご参加をお願いいたします。

### ◎テーマ

- ①小布施町の未来のための政策提案
- ②地域力の低下（議員のなり手不足等）に関する事項
- ③議員定数及び議員報酬等に関する事項

（※テーマは変更する場合があります。）

### ◎任期

議論されるテーマの政策提言が完成するまで。

### ◎その他

- ①募集人員、応募方法は全戸配布のチラシ、ホームページ。
- ②会議は毎月1回程度開催し、託児所を用意する予定です。

【アシスターとは】アシスト（他人の行なっていることを手助けする）の小布施議会発の造語です

# 政策立案常任委員会報告

議員による政策提案事項5件を審査しました。採択の結果、災害時発生時の議員行動マニュアルの作成については小布施町議会業務継続計画（小布施町議会BCP）として策定し、災害時の議会対応と、議員の役割、行動基準、議会災害対策会議等について定めました。

採択の状況（その他）

- 趣旨採択 1件（令和元年12月に会議規則の改正）
- 採択 2件 調査継続
- 取り下げ 1件



## 3月会議 一般質問

### 目次

関谷 明生.....10	小林 一広.....17
(1)台風19号復旧・復興の進捗状況について	(1)北斎館周辺のインバウンド対応の現状は
(2)今後の治水対策の取り組みは	(2)今、小布施町が行っている地球温暖化防止対策は
福島 浩洋.....11	竹内 淳子.....18
(1)「飲料水」低区配水池（雁田）の今後のスケジュールは	(1)移動通信システム5Gの導入について
小淵 晃.....12	(2)学校給食の地産地消の取り組みと有機食材推進と食育の推進について
(1)県営松川住宅の跡地の有効活用を	大島 孝司.....19
小林 正子.....13	(1)交通マナーの向上を
(1)安倍政権が進めようとしている「全世代型社会保障改革」により、小布施町の住民の福祉と生活はとなると認識されているか	(2)新型コロナウイルス「COVID19」の対策は
(2)住民に寄り添った福祉の充実への改革への改善について	(3)台風19号災害を受けて、今後の「災害に強い町づくり」の構想は
小西 和美.....14	寺島 弘樹.....20
(1)小布施町DMOの必要性について	(1)2020年度予算案について
中村 雅代.....15	(2)町民参加型による事業評価の実施について
(1)新年度予算の概要について	渡辺 建次.....21
関 良幸.....16	(1)認知症の人が暮らしやすい社会の実現とは
(1)立ヶ花南狭間地はじめ千曲川右岸堤防補強について	(2)「小布施音頭」の歌詞と作詞家関谷一雄氏の顕彰碑の建立を
	(3)町民と町が共有できるウェブサイトやアプリの提供は
	(4)シャトルバスの乗降所の増設を

# 視察 委員会 研修会 活動 議会 日誌



**長野県庁**  
一月二十一日  
県議会主催による「議員のなり手不足」の課題等について  
講師 三浦 正士  
(長野県立大助教)他

**山之内町、中野市議会との議員交流会**  
一月二十日  
中野市  
山之内町「野猿公苑」の視察と「インバウンド事業」についての講演、三市町村長を交えての意見交換会を行う。

**須高行政事務組合議会**  
二月四日  
須坂市消防署  
定例会が開催され議案四件について審議

**信州医療センター 運営協議会**  
二月四日  
信州医療センター  
病院の上半期の業務実績や経営状況の報告及び意見交換会。

**箕輪町議会から視察**  
一月三十日  
小布施町役場  
「議員のなり手不足」についての視察研修及び両議会の実情等について懇談。



**高山村・小布施町議会 研修会**  
二月十三日  
まち図書テラス  
新生病院常任理事、宮島義人氏の講演  
「超高齢化社会と医療介護のこれからを考える」

**新生病院 第二回評議員会**  
三月二十四日  
新生病院  
次年度の事業計画及び予算について審議

**自治会館**  
二月二十一日  
議案四件について審議  
講演 泉 宏ジャーナリストによる「解散から五輪花道まで何でもありの政局」

**長野広域連合定例会・懇談会**  
二月十四日  
長野市役所  
議案七件について審議  
関係市町村長を交えての意見交換会を行う。





関谷明生議員

### 台風19号災害対策を議決した農業関係補正予算に関し、復旧・復興の進捗状況と事業遂行に当たっての新たな課題は

#### 西原産業振興課長 農地排土等災害復旧工事が場所の設定と設計書の作成に時間を要し、営農への支障が心配

営農に支障が出てしまう心配と大量の土砂を河川敷外に排出しなければならぬことが大きな課題となっております。

#### 今後の治水対策の取り組みは

竹内総務課長  
畔上建設水道課長

千曲川狭窄部河床掘削・堤防強化に協力。松川ハザードマップは想定災害を踏まえたマップに

Q 昨年10月12日から13日にかけ襲来した台風19号の豪雨により本町は千曲川・松川の越水や内水氾濫により住宅・店舗など130棟、農地は145ha浸水する今まで経験したことのない大災害に遭遇しました。自治体の復旧事業に対する国庫補助率が1/2割程度嵩上げ措置が講じられる激甚災害に本町も指定を受けました。速やかに復旧・復興に取り組み

議会も提案された災害関係補正予算の審議に努めました。そのうち農業関係の都住第一揚水機場災害復旧工事、農業用機械等修繕・買取補助、農地排土等災害復旧工事の進捗状況と事業遂行に当たっての新たな課題は。

A 都住第一揚水機場工事はポンプ設備・電気設備とも

契約でき3月末の工期には間に合わないが、事業を令和2年度に繰り越し4月中の工事完了、5月上旬に稼働できるよう復旧を進めています。農業用機械等修繕・買い替え補助は、県に支援計画を提出しています。計画が認められ交付決定を受けたのち、補助金を交付していきます。農地排土等災害復旧工事は役場で先行的に実施する必要があると判断した6ブロックについて11の工事箇所に分け発注し事業を進めています。追加分は排土箇所の選定、設計書の作成準備を進めています。新たな課題は

Q 1月31日国土交通省北陸地方整備局が長年の課題であった千曲川の川幅が急に狭くなる中野市立ヶ花と飯山市戸狩地区の狭窄部について国が河床を掘削し洪水時に水を流れやすくする対策を行う。また越水対策の堤防強化対策がうたわれていますがどのような工事を検討されているのか。県政タウンミーティングで県

から伝えられた松川の浚渫工事、松川の浸水想定図に本町の果たすべき役割は。

A 立ヶ花狭窄部の河道掘削は篠井川合流点付近から下流約2km(立ヶ花橋付近)までで具体的な実施年はまだ分からないが5年以内に実施されるものと思っている。

3月中に県より千年に一度規模の降雨を予想した松川浸水想定図データが示され、これを基にマップ化を予定しています。策定に当たっては、想定し得る災害を踏まえたマップになるよう検討していきたい。



1月27日開催の県政タウンミーティング



排土作業に精出す笑顔プロジェクト



福島浩洋議員

### 「飲料水」低区配水池(雁田)の更新計画、今後のスケジュールは

#### 市村町長 令和4年度末の施設完成に向け取り組んでまいります

以前から我が町のインフラ整備の重点目標として計上されている「飲料水」整備の第一目標、低区配水池(雁田)の更新計画は令和2年12月に完成竣工とのことでしたが昨年12月の議会全員協議会の中で、計画を見直し再検討したいとの説明がありました。その後の具体的なの方策方針が未だに出されていないことから質問をいたします。

Q 3月2日の議会初日に町長が表題のとおりの方針を発表されましたが、開設当初から90年の経過、改修されてからも約70年経過しました、耐用年数60年からも経過し町民の皆さんからも大変危惧されています。

A 現在の進捗状況と今後のスケジュールを聞かせてください。令和2年2月10日に参加者募集を開始、2月25日の説明会に5社が参加、5月28日までに企画提案書提出、6月中旬に事業者選定審査委員会を開催し事業者を選定・仮契約後、町議会にお諮りしていく予定です。低区配水池(雁田)は町民の9割を賄っている大切な施設です。発注方式は、設計施工一括の公募型を採用し、工事費やランニングコストも踏まえ慎重に進め、令和4年度末の完成に向け取り組んでまいります。また、各ご家庭への送水管にも影響が出ない工法を採用して進

めます。

Q 今後老朽化した給水管の錆や水あか、場合には細菌の混入等が懸念されるが、配水池整備だけではなく、老朽給水管の整備はどのように考えているのか聞かせてください。

A 耐用年数を経過した給水管の更新については、毎年実施をしております。今後も引き続き法定耐用年数を経過している給水管について、年度ごとに安定した経営が図られるよう、適正な更新計画をたてながら、敷設年度の古いものや重要管路の経過年数を考慮し順次、敷設替えを行い、安心、安全な水道水の供給ができるよう取り組んでいきます。

更に家庭内で水道水に濁りや違和感が感じられるなどの相談があった場合は、町担当職員が伺い原因を調査し安心、安全な水道水を提供してまいります。

更新が待たれる低区配水池



更新が待たれる地下水槽



更新が待たれる低区配水池

も影響が出ない工法を採用して進



小淵 晃 議員

### 「県営松川住宅」跡地の有効活用を

中條財務課長

県の方針が決まるのに備え  
準備をしておきます

Q 県営松川住宅の居住者の転居につきましては、今から5年前の平成28年10月12日に、長野県から県営松川住宅にお住まいの皆さんへの「移転依頼の説明会」から始まりました。

その説明会では「入居者の減少により、年々空き家が増えてきた」併せて「施設の老朽化が進み、居住環境の維持が難しい小規模な団地」は、廃止をするという方針に基づいての「移転依頼」でありました。

県営松川住宅は昭和44年・45年 についで、建築されましたので築50年になり、老朽化も進んでおります。また43戸の小規模な団地で、特に平成28年当時の入居者は24世帯50人でしたので、廃止は残念ながらやむを得ないことでした。

県営松川住宅からの移転は、5年以内ということですので、本年がその期限の年となってしまいました。

①現在、居住されておられるのは何世帯ですか。また転居の予定の時期は、いつ頃になるかを把握されておられますか。  
②今後、空き住宅及び周辺は「野ネズミ」はもとより「ハクビシ

ン」「たぬき」などの有害獣の棲家になる可能性があります。環境整備は、所有者の県の責任ですので、適切な管理を望みます。  
③松川住宅の跡地を県が再活用をするという情報に接しておられますか。  
④県が再活用ができず小布施町に松川住宅の跡地を有償譲渡の要請があった時は、有効活用のため町民を含めた「検討委員会」などを設置することを、現時点で考えておられますか。  
⑤まだ入居者がおられ県の再活用 の構想もない中ですが、今からあらゆる想定に対処していけるように準備を始められることを望みます。  
A ①現在、県営松川住宅に入居されておられる世帯は2世帯です。転居の時期については長野県住宅供給公社が協議をしておられるとのこと。



県営松川住宅（転居が進み、居住は2世帯に）



小林正子 議員

### 住民に寄り添った福祉の充実への改善を

介護慰労金／補聴器補助

福祉医療窓口無料／新型コロナウイルス対策

公平の確保などから難しい

新型ウイルス 町内医療機関と連携感染予防に努めます

永井健康福祉課長補佐

Q 暮らしにくい世の中です。特に女性の一人暮らしの方や老々介護の方など、介護の生活の実情を真剣に話されます。小さなひとつひとつの要求を叶えていくことは、行政の大事な役目です。

A 町の「介護慰労金」は年間に180日以上、自宅で介護の要件。一日欠けても慰労金なし。入院している方も、付き添いや身の回りの世話がある。出来る限り広く支給を。

Q 180日以上を要介護3以上の方などを在宅で介護された方に5万円を支給。入院の間、介護の負担が相対的に軽減されていると考えます。

A 介護利用料が限度額を超えた場合は後で戻るので、払わなくてよしとするよう求める。様々な条件があり、課題が多すぎる。広域連合も絡み、町だけでは不可能です。

Q 要支援の方への生活援助を介護保険給付から外さないように。「生活援助」は単なる家事代行ではないのです。

A 要支援者へのサービスは「できることが増えるよう」にする支援。地域の方やボランティア、NPOなどが主体となって支えるまちづくりに取り組んでいます。

Q ①難聴者に町独自の器具補助制度の創設を。②障がい者の医療費も窓口無料に。

A ①医師の診断により障がい者手帳を所持の方に補助がある。その他の場合、公平な支給ができるか疑問。②試算で年400万円程、国のペナルティーがあり難しい。

Q 新型コロナウイルス感染防止に町としても万全を。

A 国県の対応に注意し、町内医療機関と連携して感染予防に努めてまいります。  
Q 町政は、国による生活や健康、福祉への悪影響から住民を守る防波堤になってほしい。安倍首相の全世代型社会保障「改革」は、①「年金」削減。②75歳以上の医療費2割負担。③介護利用料2割負担。要介護Ⅰ、Ⅱへの生活支援をなくす。④国保税負担増。⑤地域病床削減と病院統廃合。⑥保育所への国の予算削減等々。「改革」に名を借りて社会保障切

安倍政治の全世代型社会保障改革で福祉はどうなるか  
林健康福祉課長  
必要な改革と考える  
ある程度の負担やむを得ない



自ら健康寿命を伸ばそうと老人クラブの活動

り捨て、全世代に負担増を押しつける政策です。  
これらによって小布施町の住民にどのような影響を受けるか。  
A 「全ての世代が公平に支えあう」という、必要な改革であると思われ、行政、現役世代、高齢者にある程度の負担はやむを得ないと考えています。ただし、困っている人に対しては、実態を十分把握し、少しでもその不安を取り除く施策を併せて整備する必要があると考えます。





関 良幸議員

### 立ケ花南狭間地はじめ、

### 千曲川右岸堤防補強について

安全・安心のため、国・県へ積極的に働きかけてまいります

畔上建設水道課長

**Q** 立ケ花南の堤防について

は、かねてより堤防補強の対策が望まれていて、特に堤防と高速道の狭間地の埋め立てが求められてきました。昨年ようやく国の予算がつき、現在この狭間地に盛り土が行われています。しかし、狭間地すべてで行われると理解していましたが、工事の様子をみると高速道西側の農道は行われていません。この農道にも盛り土をし、桜堤と同様に堤防と高速道を一体化しないと越水時に崩落する危険性も考えられます。今回の工事では農道を含めた盛り土は予定されていないのでしょうか。

**A** 今回、国が行う工事は中野市境から南へ200mほどの間です。農道(町道)部分については、この工事が完了後、町で今後の利用計画を策定し、千曲川河川事務所及び東日本高速道路(株)に協議、同意された後、河川・道路の占用許可の申請を行い、許可された後、町が盛り土工事を行っていくこととなります。

**Q** 越水時の浸水を防止するため、立ケ花から南2か所のボックスカルバートは埋める予定と聞いていました。その事前準備として、水制跡地入り口のボックスカルバートから東側に伸びる農道の拡幅も行われました。このボックスカルバートの閉鎖は、予定どおり行われるのか否か、またそれはいつになるのか伺います。

**A** ボックスカルバートの閉鎖につきましても、これから利用計画を作成し、関係機関と協議してまいります。

**Q** 現在、千曲川河川敷の廃

土作業が進められていて、取り除いた土は高山村の公園が予定されている場所に運んでいると聞きました。この土の一部でもこの狭間地の埋め土に使うことはできないのでしょうか。いわば、災害が残した土を災害予防に使うということとはできないのでしょうか。また、国との事前協議にこの狭間地を排土処分場所に計画をしなかったのでしょうか。

**A** 国と排土処分地としてこの狭間地に入れられるよう協議しましたが認められませんので、今後予定される協議の場で、再度求めていきたいと思っております。

**Q** 災害時の越水被害の軽減を図るため、ボックスカルバートに、浸水を防ぐための開閉が可能な可動式の強固な扉の設置、浸水の軽減を図るための止水板の常備などは考えられないでしょうか。

**A** 「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」で示された「浸水被害軽減対策」が早期着手されるよう働きかけをしてまいります。可動式の強固な扉、止水板の常備は今のところ考えていません。

**Q** 19号災害時における越水地点をはじめとする千曲川右岸の堤防補強、大島南の松川護岸補強、浚渫などの対策については、工事の早期実現のために国・県などへの効率的かつ効果的な働きかけが重要だと考えますが、見解を伺います。

**A** 町民の皆様ご安全・安心のためにも、国・県に積極的に働きかけてまいります。



盛り土工作業が進む立ケ花南狭間地

### 北斎館周辺のインバウンド対応は

富岡産業振興課長補佐

行政としての対応は考えていない。学生のボランティアガイドは検討。



小林一広議員

**Q** 近年、国策もありインバウンドの来訪者が多く見受けられます。昨年は、ラグビーワールドカップ、冬は、オーストラリアの方を中心にパウダースノーを求め白馬に、その間に観光で小布施を訪れます。今年の夏は東京オリンピックが開催され想像を超えるインバウンドの方が訪れて頂

けると想定できます。全ては、新型コロナウイルスが終息することを前提の質問になるのですが、そこでお聞きします。

①行政として北斎館周辺のインバウンド対応はどのように考えていますか。

②町によるインバウンドに対応できる窓口を北斎館周辺に設置する考えはありますか。

**A** ①行政としてではなく、町お迎えする施策を進めたい。②北斎館周辺でお店を営んでいる事業者の方と協力連携しながらインバウンド対応を進めたいと考えます。

**Q** 小学生、中学生、高校生と学生のボランティアはどうか。

**A** 学生の皆さんがインバウンド対応されている観光地があります。小布施町でも実施可能かを検討してみます。

### 今、小布施町が行っている地球温暖化防止策は

市村町長

「防災・環境・都市計画室」(仮称)を設置する

**Q** 昨年の台風19号は地球の環境の変化、地球の温暖化が原因ともいわれています。長野県でも2050年には二酸化炭素排出量を実質ゼロを目標に設定しました。今、小布施町が行っている地球温暖化防止対策は何ですか。

**A** 環境政策を推進するため「防災・環境・都市計画室」(仮称)を設置する予定です。民間業者や家庭での取り組みを応援し、再生可能エネルギーの電力利用を推進していきます。

長期的には長野地域連携中枢都市圏などの枠組みも活用しながら、周辺市町村と連携し北信地域でRE100という大きな目標を見据えて取り組んでいきます。

**Q** 民間企業である「ながの電力」の電力を利用することで地域にお金を回すということですが、電力会社が変わるだけで地域にお金を回すのであれば自前の電力を持つべきでは。非常用電力はどのように考えるか。新設される計画室は「課」にはしないのか。

**A** 本社のある所にお金を納めるのではなく、地域で回すことが重要。計画室は、しっかりと今後を見据え、効果が出たら課への昇格も考えられる。



松川にある「ながの自然電力」の水力発電



北斎館周辺の様子



竹内淳子議員

### 第5世代移動通信システム導入は

**須藤企画政策課長** 他の自治体の基地局開設時の住民への事前説明合意を定めた条例を検討する

**Q** 第6次総合計画の重点施策として地域課題解決に向けた5Gの活用とありますが、5Gを導入した国では人間の健康被害や動植物への影響があるので一時停止をしている自治体があります。日本では既に人口の6%が電磁波過敏症です。教室に入れず学校に週3日しか通えない小学生もいます。5Gを導入するとさらに増えることが懸念されています。日本では鎌倉市や岩手県高沢村では基地局設置時に事前説明を定める条例を制定しています。今回導

入を計画にいったことへの考えをお聞きます。

- ① 地域課題とは具体的にはどんなことを想定していますか。
- ② 電磁場が動植物・人体に与える潜在的悪影響を調査し導入を決めたのですか。日本の規制は国際水準より緩いのががですか。
- ③ 5Gアンテナ基地局の設置にあたり住民への説明・合意を求める意向はありますか。
- ④ どこに導入を考えていますか。
- ⑤ 電力消費も増大し気候変動に対しての節電意識と逆行と考えるが省エネを進める方針はありますか。

入を計画にいったことへの考えをお聞きます。

**A** ①災害時ドローン・学校等への活用も考えられるが具体的な導入方法・場所はまだ決まっております。



有機学校給食と食育環境教育推進

- ②③電磁波の安全性は国が電波法で規制しているので悪影響はないと考えますが、基地局設置事前説明等の条例を調べて検討し国に言うことだけではないと考えます。
- ④まだ具体的に決まっております。

⑤消費電力増大には再生可能エネルギーを当てていくので気候変動には対応していると考えますが、省エネも推進します。

### 学校給食への有機食材推進・食育の推進を

**三輪教育次長** 有機食材利用を増やしたい。有機農業を町として後押しする

**Q** 近年、発達障害や精神的不安定等が、食の影響で起りやすくなっているという研究・統計的に結果がでていと言われております。小布施町の学校給食にも配慮が必要と考えます。有機学校給食を導入している自治体は多くなっています。町で収穫される野菜やお米についても有機栽培を進め、安心安全な食材の地産地産を学校給食を受け皿にすることは経済の地域循環になります。食育も必要です。まちづくり委員会環境部会がほかしを使い生ごみ

を微生物分解し堆肥化し小布施丸ナスを作る授業を4年生と行っています。また、子どもは幼児のとき早期の体験や環境が、生育に非常に大きな影響を持ちます。畑で野菜をつくり食べる体験はとても大切です。

- ① 学校給食に有機栽培野菜を更に増やしていく考えはありますか。
- ② 全国的に新規就農者には有機農業・自然農を希望する人が多いが有機農業と地域振興をつなげていく考えはありませんか。
- ③ 全学年通して環境教育も組み合わせさせて食育に取り組み考えはありますか。
- ④ 幼・保育園での体験的な取り組み、畑で野菜をつくるなどの食育を取り入れる考えはありますか。
- ⑤ 県も有機学校給食を推進しているが連携をとる考えは。

- A** ① 地元野菜、有機野菜の利用を増やしていきます。
- ② 農業委員会や産業振興課と連携し有機農地の集約を町として後押ししていきます。
- ③④ 幼保小中の全学年で食育に取り組んでいる。食育を体系的に推進したい。
- ⑤ 県とどんな連携をとれるか調べて進めて参ります。

### 新型コロナウイルスの対策は

**永井健康福祉課長補佐** 感染の拡大を防ぐ対応から進めていきます



大島孝司議員

**Q** 新型コロナウイルスに対してWHO(世界保健機構)は、今時点ではパンデミック(世界的な感染爆発)にはなっていないとの見解を示しましたが、パンデミックになる可能性に備えておく必要があると考えます。県内には、危険性が極めて高い感染症に

対する第一種医療機関の信州医療センター(旧須坂病院)や北信綜合病院をはじめとする第二種医療機関が10か所の計11か所、病床数は46床しかありません。感染症指定医療機関の今後の方向性について、またパンデミックになり町内に感染者が出た場合、町と医療機関の対応については事前に確立しておくべきと考えますが見解を伺います。

**A** 感染症医療機関の現状は長野県として必要な病床数を確保し対応できていると考えています。町として果たすべき「感染の拡大を防ぐこと」にしっかりと対応してまいります。多くの人が一斉に医療機関を訪れ、医療機関の機能が低下することがないよう、また、感染してしまった人と重症化する恐れがある人に優先的に医療が提供されるよう、町としてできる限りの調整を、行政の役割として果たしてまいります。



第1種感染症指定医療機関の県立信州医療センター(旧須坂病院)

全国的に運転手の交通マナーが悪化してはいますが、小布施町は交通マナーの向上を目指す町にしたいものです。信号機のない横断歩道脇に歩行者がいる場合、車は一時停止しなければなりませんという道路交通法第38条があります。9割以上が守っていないとのことであり、守っているのが、全国平均7%に対し長野県は48%で全国1位です。更なる運転マナー向上の対策は、「ながら運転」「あおり運転」をしないための対策は、道路に凹凸あるいはカーブをつけるなどとしてスピードを抑制する対策は、高齢者運転免許返納の特典を。以上、見解を伺います。

**Q** 台風の被害を受けて今後の「災害に強い町づくり構想」は

**A** 今後、ホームページや広報などで運転マナーの周知・啓発に取り組んでいきます。道路状況については、構造的・視覚的な面なども踏まえ、対策の検討をしていきます。

**交通マナーの向上を**  
**町上建設水道課長**  
ホームページや広報などで周知・啓発に取り組みます

**台風19号災害を受けて今後の「災害に強い町づくり構想」は**  
**竹内総務課長**  
事業実施要望を上げていきます



寺島弘樹議員

### 2020年度予算について

久保田副町長

**安定した財政運営を進めていくため、財政試算等に基づき、歳入の確保や歳出の具体的な抑制を進めていきます**

**Q** 昨年の台風19号からの災害復旧に係る防災・減災対策や社会保障費及び公共施設の高齢化対策等の歳出増加への予算対応を主眼とした予算編成が特に2020年度予算として求められると考えます。加えて、教育関連経費及び投資的経費が新年度以降も増加が予想される中、財政運営、かじ取りが一層困難になると思われますが、今後の財政試算、財政見直しについて伺います。

る事業を実施します。  
(2)新年度予算においては、普通建設事業費は全体の8.4%であり、残りの91.6%は人件費、物件費等現行の行政サービスや一定の行政水準を維持していく経常経費に占められ、歳出の抑制は非常に難しい状況です。  
持続的な財政構造や安定した財政運営のため、シミュレーションの実施等に基づく歳入の確保、歳出の具体的な抑制策や中長期的な見直しについて、年次計画等の策定を進めていきます。



**Q** 事業を、「企画立案(Plan)」「実施(Do)」

**町民参加型の事業評価の実施を**  
竹内総務課長  
事業構築に当たっては、各方面から御意見をいただき進めます。

↓「評価(Check)」↓「改革・改善(Action)」というPDCAサイクルで事業評価や見直しを行い、執行上の課題や問題点を洗い出し、課題等解決に向けた対応を協議・論議し、施策実現や事務事業の改善に繋げていくための町民参加型事業評価を公開で実施することは意義あることと考えます。町事業の検証や決定に生かす動きとして、町民の参加を

得ながら、民意を探るため、町民参加型事業評価の実施を提言します。点検メンバーによる公開での点検を行い、検証結果は次年度予算に原則反映させることとし、各事業執行についてスクラップ&ビルドを明確に検証します。  
具体的方法としては、  
①点検事業分野を設定し、効率性、費用対効果等を論議、検証します。  
②点検メンバーは、町の事業概要の説明を受けた後、疑問点、課題等について、公開で町と双方議論し、事業の評価決定をします。  
③評価項目は、「事業効果が高い」、「改善の必要性あり」等々。  
④町は評価決定後、改善・改革プログラムをまとめいきます。  
以上、「みんなで」、「どのような方法で」が見える化により実践することが提言趣旨です。

(2)持続的な財政構造をどう考えていくのか、具体策について。

**A** (1)新規事業として、栗ガ丘小学校の環境整備事業として、教室棟等のトイレ洋式化を行います。また、「小布施出かけ交流ポイント事業」により、65歳以上の方を対象に、ポイント対象講座や健康診査の受診の際はポイントを付与し、獲得ポイントにより町内店舗で商品券と交換でき

改めて任用するか、若しくは事務事業の外部委託を行うかなどの検討経過について。

**A** 会計年度職員の導入に当たっては、外部委託を図る等の検討趣旨の総務省通知が発出されてはいますが、直近での移行は難しい面がありました。人件費の新たな増額ではありませんが、職

**A** 町の事業評価は、地方自治法に基づき監査委員や住民の代表である議会に諮り決算認定を受けています。事業構築に当たっては、各方面から意見をいただき反映させていただいているところですが、PDCAサイクルは総合計画の見直し等、住民参加を得ながら実施していきたいと考えています。



渡辺建次議員

### 認知症の人が暮らしやすい社会の実現

林健康福祉課長

**地域包括支援センターを中心に対応**

**Q** 超高齢化社会を迎え、65歳以上の高齢者の約7人に1人が認知症と見込まれ、町内では、介護認定を受けている方

**Q** 認知症に関する様々な民間保険の紹介と補助施策は、今のところ必要に迫られているとは判断しかねます。国全体の動向を注視したい。

**A** 認知症に関する様々な民間保険の紹介と補助施策は、今のところ必要に迫られているとは判断しかねます。国全体の動向を注視したい。

知症及び認知症の疑いのある方を含めると400人程度とお聞きしています。認知症高齢者が訪れた時の対応として、地域のスーパーマーケットや金融機関等の民間部門との連携はどのようになっていますか。

**A** ケースごとに家族や近隣の支援者、介護サービス事業者等で情報共有しています。また、認知症サポーターの養成にも努力しています。

**Q** 「認知症ケアパス」(認知症発症予防から人生の最終段階までの流れをあらかじめ標準的に示したもの)の作成状況は。

**A** 平成31年3月に完成しており、相談に来所された方が必要と思われる場合に説明し、お渡ししています。

**「小布施音頭」の歌詞と作詞者関谷一雄氏の顕彰の建立を**  
中島教育長  
関係の方々から動きが出てくる中で検討したい

**Q** 令和元年6月号の「町報おぶせ」に、「小布施音頭」

が特集されました。今も変わらぬ小布施の魅力を、その当時とすれば余すところなく、音頭らしい独特の表現で作詞されています。作詞者関谷一雄氏は、町内外を問わず多くの文化人とのふれ合いを大切にし、現在の小布施町への気風につながる「交流の原点」を築い

**町民と町が共有できるウェブサイトやアプリの提供は**  
畔上建設水道課長  
小さな町であり直接電話で対応しています

**Q** ウェブサイトやアプリを利用することにより、車や

**「シャトルバス」の乗降所の増設を**  
富岡産業振興課長補佐  
費用対効果から、実現は難しいです

**Q** 買い物や通院に、シャトルバスを有効利用するため、例えば、南公園駐車場や玄照寺の二か所を乗降所として増やすことはできないでしょうか。また、通年の運行の実施はどうでしょうか。

**A** 平成25年度のロマン号の町民の利用実態は。アンケート回答者84人中6%でした。また、通年運行試験も空車運行がほとんどでした。事業全体の費用対効果からご提案内容の実現は難しいものと考えます。